

令和3年度の重点課題

①情意面での課題

【男子】

・特定の種目においては、興味関心が高い生徒の割合が高いが、約4割の生徒が運動に苦手意識を持っている。

【女子】

・6割の生徒が運動に苦手意識を持っている。

②体力面での課題

【男子】

・特に昨年度の全国平均と比べて、反復横跳び、上体起こしが低い。

【女子】

・特に昨年度の全国平均と比べて、反復横跳び、上体起こしが低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○生徒の興味関心の高い卓球、バドミントンを中心に種目選択制を実施し、生徒が関心の高い競技や種目を選択できるようにした。
○スキルテスト等、個人で技能を高める時間よりもゲームを増やして、活動量を多くした。
○多くの種目が実施できるように備品を増やした。

令和4年度新体カテストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
第2学年	39.60	14.70	39.11	37.11	16.00		8.09	178.67	18.22	31.20	第2学年	21.00	9.75	42.00	26.67	11.00		9.60	143.33	10.6

県平均値かつ全国平均値未満

令和4年度新体カテストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

R4年度の県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値(R4)及び全国平均値(R3)を記入し、比較を行います。

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	40.00	50.00	0.00	10.00	第2学年	75.00	0.00	25.00	0.00

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

● 情意面での課題に対する取組

【男子】

・苦手意識の強い生徒だけでなく、すべての生徒が活動する事で技能が高まっていることを実感できるポートフォリオを作成、活用し意欲につなげる。

【女子】

・得意種目、好きな種目を見つけられるように多くの種目を経験させる。
・ヨガ等の体ほぐし運動を行い、体と心は運動していることを意識させる。

● 体力面での課題に対する取組

・体力を高めることの意義を保健や体育理論の授業で理解させ、体力を意識した活動を取り入れる。
・「上体起こし」「反復横跳び」は、各学期の終わりに計測し、結果を見える化する。

重点課題

①情意面での成果・課題

【男子】

・種目選択制にしたことで、意欲的に取り組む生徒が増えたが、体力向上につながっていない。

【女子】

・昨年度よりは減ったが、3割の生徒が運動に苦手意識を持っている。

②体力面での成果・課題

【男子】

・全体的に県平均と比べて、低い。

【女子】

・全体的に県平均と比べて、低い。

令和5年度の目標値

○「上体起こし」「反復横跳び」の2つの項目を重点項目とし、今年度の結果と比較して、年度末及び来年度に生徒が体力向上を実感できるようにする。
「上体起こし」・・・男子平均16回、女子平均11回。
「反復横跳び」・・・男子平均41回、女子平均32回。